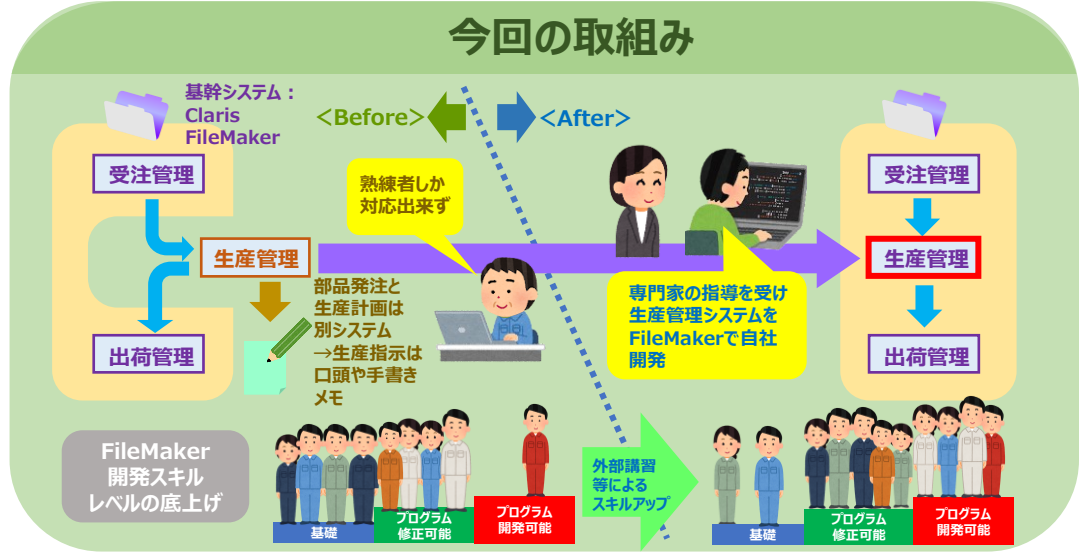


令和5年度 企業のDX推進補助金交付事業 成果報告

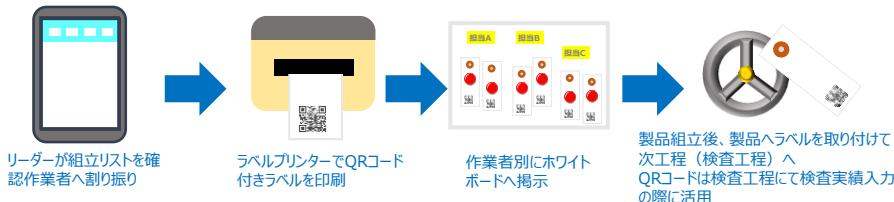
日の本辨工業株式会社「基幹システム拡張開発の内製化」

受注と製品出荷の管理ができる「基幹システム」は部品発注と生産計画作成とは連携しておらず、基幹システムデータを別ソフトで編集するなど、**熟練社員しか対応できない状況（属人化）**となっている。また生産指示を口頭や手書きメモに頼るなど、全社的に業務遂行に求めるITスキルに達していない。基幹システムは「Clariss FileMaker」というローコード開発が可能なデータベースソフトであり、高度な専門的知識がなくてもある程度の知識を習得すれば自社内でも開発が可能であり、以前より**システムを使用する者が自分で開発・改善を行えるのが理想との考えが会社の指針**としてあることから、業務繁多やもう一步踏み込んだ開発を行うためのスキル不足の状況をブレークスルーするため今回、自社で基幹システムの生産管理機能の拡張に挑戦した。その過程で開発に必要なスキルを委託先から指導を受け、同時に**継続的なシステム運用と属人化防止のため外部講習の活用等で全社的なITスキルの底上げ**を行うことでDX人材を育成する



成果

- 「組立・検査指示」システム開発を内製化で実現：仕様検討・決定、システム内部の他機能との連携、スクリプト作成などを技術指導を受けながら**社員主体で行った** ⇒ DXスキルの向上
- システムの運用定着：**特定の社員が行っていた生産指示**に関する業務をシステム化した事で、**他の社員でも対応が可能**となった ⇒ 生産性の向上
- タブレット、ラベルプリンターの活用：従来、口頭や手書きのメモで生産指示を行っていたが**タブレットとラベルプリンターを活用することで時間短縮、ミスの軽減**へと繋がった ⇒ 生産性の向上



DX人材育成と今後の展開

<DX人材育成>

- ・これまで基幹システム開発を委託していた業者に、生産管理機能のシステム開発を行う為の社員への技術指導を依頼（受講者：4名）
成果：技術指導を受けながら「組立・検査指示」機能を開発
- ・FileMakerトレーニングの外部講習受講（受講者：5名）
成果：6日間の日程でオンラインにて講習を受講し、基礎レベルの受講者が実践レベルの講習を受講したことでスキルアップが出来た

<今後の展開>

- ・社内各工程（加工、塗装、出荷、船級受検）への展開
加工：素材の入荷→加工工程における在庫管理
塗装：検査工程からの情報連携
出荷：倉庫出庫作業と基幹システムとの連携
船級受検：申請作業の改善
- ・今回の実績を踏まえ新たな視点で業務を見直し、更に自社内でのシステム開発を目指す（既存機能のブラッシュアップも含む）